

「工業管理技術」	教 科	工業	単 位 数	2 単 位
	学科、学年、組	環境科学科、 3 学年、 5 組		
使用教科書	なし			
副教材等	「工業管理技術」(実教出版株式会社)			

1 科目のねらい(目標)

学習の到達目標	<p>工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業生産の管理に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)工業生産の管理技術について企業における経営事例を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。</p> <p>(2)工業生産の管理技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。</p> <p>(3)工業生産を管理する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
---------	--

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれA B Cで評価し、各観点の割合を基に評定(5段階)で総括します。

評価の規準 A:十分満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する

	評価の観点及び内容	観点の割合	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 管理に必要なチャート、グラフや表などを作成出来る。 管理図法により品質管理の各管理図を作成出来る。 各管理技術について理解し、知識を習得する。 品質管理の手法を理解し、管理図を作成し、計算が出来る。 	35%	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査中の問題 授業中の発問に対する応答内容 課題に対する取り組み ノートの記載内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 企業・製造業の仕組みを理解する。 工業管理の流れにおいて、各管理技術の役割と意義を理解出来る。 	35%	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査中の問題 授業中の発問に対する応答内容 課題に対する取り組み
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 製造業の工場に必要な工業管理の知識や技術の習得に意欲的か。 工業管理技術を将来の自分たちの問題として受け止め、その重要性を認識しているか。 	30%	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への参加の仕方や態度 授業中の発言や発表内容 ノートの記載状況 課題に対する取り組み

3 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
I	<p>6 品質管理</p> <p>品質管理の意義と目的</p> <p>品質管理の手法</p> <p>品質検査</p> <p>品質保証</p>	<ul style="list-style-type: none"> 品質管理の目的と重要性について理解する。 データの整理, 推定と検査, 正規分布など統計的手法の基礎を理解する。

2	<p>9 人事管理</p> <p>人事管理の役割と意義 労働契約と労働関連法規 人事政策と人事管理 人材育成 人事考課と処遇 福利厚生</p>	<p>・人事管理の進め方，賃金，福利厚生，労使関係などの概要について理解する。</p>
3	<p>11 工業経営関連法規</p> <p>法令の体系 企業経営一般に関する法律 労働関係に関する法律 技術と工業振興に関する法律 環境保全に関する法律 製造業に係る資格と法令</p>	<p>・企業経営に関する基本的な法律，技術および工業の発達に関する法律，労働に関する法律など，経営に関する基本的な法規の目的と概要について理解する。</p>